

2014年度(2014年4月～2015年3月)

公衆衛生看護学分野 業績

分野構成(2015年4月1日時点)

教授:大森純子、助教:田口敦子、研究補佐員1名、大学院博士課程4名、大学院修士課程2名、卒業研究生7名、研究生1名

主な研究テーマ

米国の公衆衛生領域で主流となっている(CBPR:Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「地域への愛着」を育む健康増進プログラムの開発、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに取り組み、個人変容と社会変容に参画しています。また、住民ボランティアと保健行政の関係職種がどのように協働していけばよいかについても探索しています。質的研究、量的研究、混合法などリサーチクエスションにより多様な手法を用います。

【主な研究テーマ】

- ・文化と健康観、ヘルスプロモーション、ソーシャルデザインに関する研究
- ・地域への愛着と健康に関するプログラム開発、地域への愛着を育むメソッド開発
- ・行政と住民ボランティアの効果的な協働方法、近隣住民間の交流促進に関する研究
- ・コミュニティアセスメント、地域特性に応じた看護職間ネットワークに関する研究

主な研究業績(2008年4月以降)

【主な研究論文】

- ・大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 他. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌.2014;3(1):40-48.
- ・大森純子. 住民と共創する健康増進—地域の底力育むために—. 東北医学雑誌, 2014;126(2):147-150.
- ・大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 他. コミュニティアセスメントの実践的演習の成果. 聖路加看護大学紀要. 2014;40:105-11.
- ・Taguchi A, Naruse T, Kuwahara Y, et.al. Characteristics of clients using home-visiting nursing services at nighttime and early morning in Japan -Focusing on clients' cancellation of services of visiting nurses at nighttime and early morning. Home Health Care Management & Practice. 2014;26(4):250-256.
- ・Taguchi A, Nagata S, Naruse T. et.al. Identification of the need for home visiting nurse: development of a new assessment tool. International Journal of Integrated Care 2014;14.

【主な著書】

- ・大森純子. 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術. 佐伯和子, ed. 東京:医歯薬出版;2014.
- ・大森純子. これからの保健医療福祉行政論. 星旦二, 麻原きよみ, ed. 東京:日本看護協会出版会;2014.
- ・大森純子. 質的心理学フォーラム選書1 インタビューという実践. 斎藤清二, 山田富秋, 本山方子, ed. 東京:新曜社;2014.
- ・大森純子. 公衆衛生実践キーワード. 鳩野洋子, 島田美喜, ed. 東京:医学書院;2014.

【主な学会発表】

- ・酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 他. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第1報) “地域への愛着”尺度項目の検討. 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会;2014 Jan12-13;101, 小田原
- ・高橋和子, 大森純子, 酒井太一, 他. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第2報) 関連要因の検討— 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会;2014 Jan12-13;101, 小田原
- ・三森寧子, 高橋和子, 大森純子, 他. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第3報) 健康関連 QOLとの関連性. 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会;2014 Jan12-13;101, 小田原

1. 原著論文・総説（査読あり）

大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌.2014;3(1):40-48.

Taguchi A, Naruse T, Kuwahara Y, Matsunaga A, Nagata S, Murashima S. Characteristics of clients using home-visiting nursing services at nighttime and early morning in Japan –Focusing on clients’ cancellation of services of visiting nurses at nighttime and early morning. Home Health Care Management & Practice. 2014;26(4):250-256.

Taguchi A, Nagata S, Naruse T, Nagata S, Yamaguchi T, Murashima S, Identification of the need for home visiting nurse: development of a new assessment tool. International Journal of Integrated Care.2014;14: 坂田祥, 成瀬昂, 田口敦子, 村嶋幸代. 幼児の行動特性別にみた母親の育児困難感とその関連要因. 日本公衆衛生雑誌.2014;61(1):23-15.

2. 著書

大森純子. 第 4 章 知の創出と洗練—科学の実践としてのインタビュー, 齋藤清二, 山田富秋, 本山方子 (編). 質的心理学フォーラム選書 1 インタビューという実践. 東京: 新曜社;2014.p.63-80.

大森純子. 第 3 章 2 節 地域全体への公衆衛生看護技術, 住民との協働による地域づくり, 佐伯和子, 麻原きよみ, 荒木田美香子, 岡本玲子 (編). 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術. 東京: 医歯薬出版;2014.p.118-131.

大森純子. 第 2 章 公衆衛生の活動対象, 大森純子, 有本梓, 蔭山正子, 小野若菜子, 宮本有紀, 相田潤, 梅田麻希, 鈴木まき (分担執筆). 第 7 章 地域保健, 神馬征峰, 大森純子, 宮本有紀 (編集代表). 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度②. 公衆衛生. 東京: 医学書院;2015.p.45-60.

大森純子 (分担執筆). 第 VI 章 保健師が担う政策化のプロセスと方法論, 地域診断 (コミュニティ・アセスメント), 星旦二, 麻原きよみ (編). これからの保健医療福祉行政論. 東京: 日本看護協会出版会;2014.p.122-127.

大森純子. エスノグラフィー. 鳩野洋子, 島田美喜編. 公衆衛生実践キーワード. 東京: 医学書院;2014. p. 186-187.

田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代 (分担執筆). 「地域特性に応じた在宅医療ケアシステムの構築—福岡県の実例と PDCA サイクル実践ツールの開発」. 在宅高齢者を支える—医療・介護・看取り—. Advances in Aging and Health Research 2013. 愛知: 長寿科学振興財団;2014.p.71-80.

3. 紀要・解説

・大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 他. コミュニティアセスメントの実践的演習の成果. 聖路加看護大学紀要. 2014; 40: 105-11.

・大森純子, 小西恵美子, 麻原きよみ. 保健師の実践へのヒント(1) ベラルーシ視察報告から学ぶ. 保健師ジャーナル.2014;70(7):626-630.

・三森寧子, 大森純子, 小西恵美子, 川崎千恵, 荒木田美香子, 菊池透. 保健師と放射線防護専門家・公衆衛生看護研究者との協働実践—母子保健事業における実践モデル. 保健師ジャーナル.2014;70(9):828-833.

・大森純子: 住民と共創する健康増進—地域の底力育むために—. 東北医学雑誌.2014;126(2):147-150.

4. 国際学会発表

・Kiyomi Asahara, Maasa Kobayashi, Misako Miyazaki, Yukiko Anzai, Emiko Konishi, Yasuko Mitsumori, Toshie Miyazaki, Junko Omori, Wakanako Ono. Development and evaluation of a public health nursing ethics education program for nursing students. APHA 142nd ANNUAL MEETING&EXPO/American Public Health Association;2014 Nov

・Chie Kawasaki, Atsuko Yabuki, Emiko Konishi, Wakanako Ono, Toru Kikuchi, Makiko Orita, Junko Omori, Mikako Arakida, Maasa Kobayashi, Yasuko Mitsumori, Kiyomi Asahara. 18th EAFONS ;2015 Feb

5. 国内学会発表

- ・小林真朝、麻原きよみ、大森純子、小野若菜子、三森寧子、宮崎美砂子、宮崎紀枝、安齋由貴子。「公衆衛生看護の倫理」教育の重要性に対する教員の認識。第17回日本地域看護学会学術集会;2014 Aug
- ・三森寧子、小西恵美子、菊池透、大森純子、荒木田美香子、川崎千恵。母子保健事業における放射線に関するミニ講座の取り組み:効果的实践と課題。第3回日本放射線看護学会;2014 Sep
- ・三森寧子、小西恵美子、菊池透、大森純子、荒木田美香子、川崎千恵。母子保健事業における放射線に関するミニ講座の取り組み:効果的实践と課題。第3回日本放射線看護学会学術集会;2014 Sep5-6;大阪府大阪市中央公会堂
- ・川崎千恵、麻原きよみ、矢吹敦子、大森純子、荒木田美香子、小野若菜子、小林真朝、三森寧子、北宮千秋。放射線防護文化形成のための実践モデル1「既存事業における健康講話と対話」の効果。第73回日本公衆衛生学会総会;2014 Nov5-7;栃木県 栃木県総合文化センター, 宇都宮東武ホテルグランデ, ニューみくら, 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス
- ・大森純子、麻原きよみ、矢吹敦子、川崎千恵、荒木田美香子、小野若菜子、小林真朝、三森寧子、北宮千秋。放射線防護文化形成のための実践モデル2「保健師との協働ミーティング」の効果と課題。第73回日本公衆衛生学会総会;2014 Nov5-7;栃木県 栃木県総合文化センター, 宇都宮東武ホテルグランデ, ニューみくら, 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス
- ・新井志穂、成松宏人、村嶋 幸代、秋山直美、有本梓、田口敦子。貸切バス運転者における食習慣と勤務状況との関連。第87回日本産業衛生学会;2014 May21-24;岡山県 岡山コンベンションセンター
- ・田口敦子、村山洋史、寺尾敦史。健康推進員の活動満足感を高める研修プログラムの効果。第73回日本公衆衛生学会総会;2014 Nov5-7;栃木県 栃木県総合文化センター
- ・坂本カノ子、高橋裕子、可野倫子、田口敦子。認知症早期対応・早期支援の取り組み。第73回日本公衆衛生学会総会;2014 Nov5-7;栃木県 栃木県総合文化センター
- ・吉澤彩、田口敦子、岩崎昭子、鈴木順一郎。訪問看護事業所のない地域に住む 在宅療養者の実態。第73回日本公衆衛生学会総会;2014 Nov5-7;栃木県 栃木県総合文化センター
- ・森松薫、鎌田久美子、王丸才恵子、野田容美、塚本忍、山下眞由美、田口敦子。在宅医療推進事業の質の担保に向けた事業実施マニュアルおよび事業評価指標の開発(～中間報告～)。第3回日本公衆衛生看護学学術集会;2014 Jan10-11;兵庫県 神戸国際会議場

6. 外部資金獲得(主任研究) ※2014年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

- 大森純子(主任研究者) 新興住宅地の向老期世代を対象とした“地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 平成26年度科学研究費補助金(基盤研究B)。2010 Apr-2015 Mar.
- 田口敦子(主任研究者) 地域における終末期ケアの質向上ツールおよび教育プログラムの開発 平成26年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)。2014 Apr-2016 Mar.

7. 外部資金獲得(分担研究) ※2014年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

該当なし

8. 外部資金獲得(その他) ※2014年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

- 田口敦子(主任研究者) 日本の文化に沿った、在宅緩和ケアにおける看取りケアのクリティカルパス Liverpool Care Pathway 日本語在宅バージョンの開発と有用性の検討 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2013 Aug.-2014 Sep.
- 田口敦子(主任研究者) 孤立予防に向けた住民組織主導型アウトリーチモデルの効果検証 公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 2013 Nov.-2014 Oct.